

区分・種別	県指定有形文化財(石造美術)		
名 称	せきぞうほうきょういんとう 石造宝篋印塔 1基		
所 在 地	今治市玉川町桂		
所 有 者	宝蔵寺	管 理 団 体	
指定年月日	昭和32年12月14日		
解 説	<p>この塔は、宝蔵寺釈迦堂の裏にある釈迦ヶ嶽の頂上部に建立されている。</p> <p>花崗岩製で総高144cmと小型であるが、均整のとれた落着きのある作品である。基礎には鎌倉様式の格狭間<small>こうざま</small>を彫り、塔身正面の月輪中には梵字<small>ぼんじ</small>の「キリーク」を刻んでいる。</p> <p>基礎に彫られた格狭間の形態、笠に垂直な角突起等の製作技法からみると、鎌倉時代末期の作品といえよう。</p>		

